

置き型液晶モニターアーム(上下2面)(EEX-LA031シリーズ)組立説明書

この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

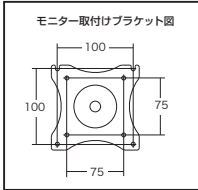
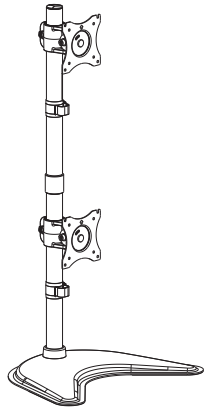
Ver1.0

組立説明書は大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

<用意していただくもの>
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください)
プラスドライバー、電動ドリル、毛布

完成図



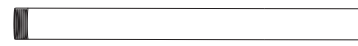
ディスプレイ：27型以下
耐荷重：各10kg

組立て部品

※部品の欠品や破損があった場合は、品番(EEX-LA031など)と下記の部品番号(①~⑬)と部品名(クッションシートKなど)をお知らせください。



①支柱A×1本



②支柱B×1本



③台座C×1個



④ブラケットD×2個



⑤ジョイントE×1個



⑥ケーブルクランプF×2個



⑦カバーG×1個



⑧六角レンチH(3mm)×1本



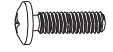
⑨六角レンチI(5mm)×1本



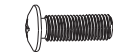
⑩六角レンチJ(6mm)×1本

モニター取付用部品

※各種モニターに適合するボルト等をご利用ください。



⑪ボルトM-A×8本(M4×12)



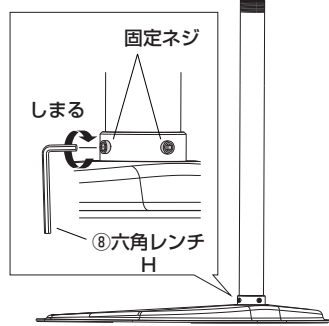
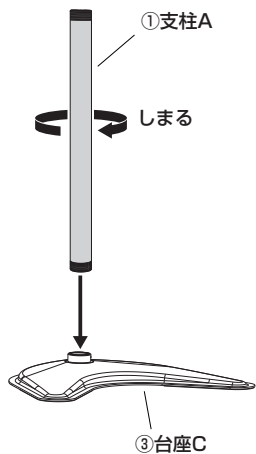
⑫ボルトM-B×8本(M5×12)



⑬ワッシャーM-C×8枚

1. 台座 C に支柱 A を取付けます。

1. 支柱Aを回して取付けます。
2. 六角レンチHで、2箇所を締め付けます。



2. 支柱 A にブラケット D を取付けます。

1. カバーG、ケーブルクランプF、ブラケットDの順に差込みます。
切り欠きを上にします。
2. ブラケットDを任意の位置に固定します。

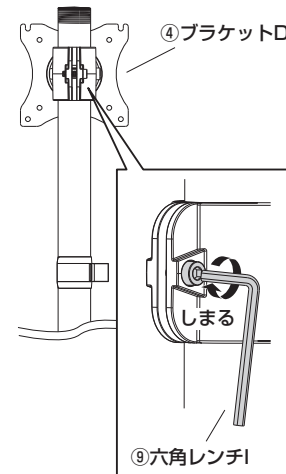


④ブラケットD

⑥ケーブルクランプF
※途中まで下げます。

⑦カバーG
※根元まで下げます。

①支柱A

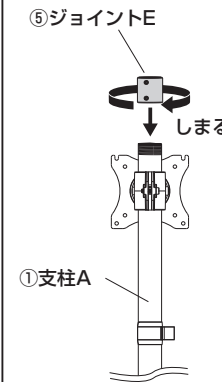


④ブラケットD

⑨六角レンチI

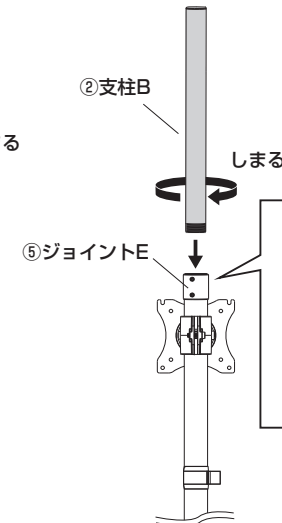
3. 支柱 A に支柱 B を取付けます。

1. ジョイントEを取付けます。
2. 支柱Bを取付けます。
3. 六角レンチHで、2箇所を締め付けます。



⑤ジョイントE

①支柱A

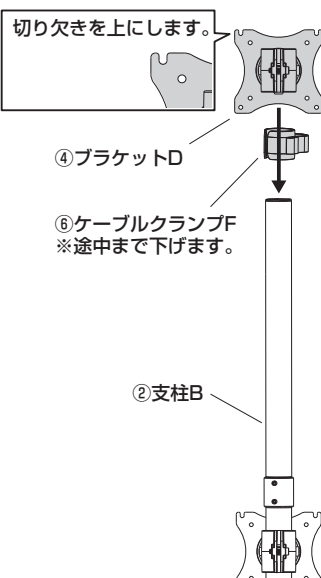


②支柱B

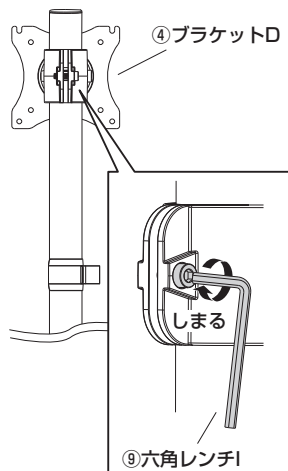
⑧六角レンチH

4. 支柱 B にブラケット D を取付けます。

1. ケーブルクランプF、ブラケットDの順に差込みます。



2. ブラケットDを任意の位置に固定します。



VESA100×100のモニターの場合

5. モニターにボルトを取付けます。

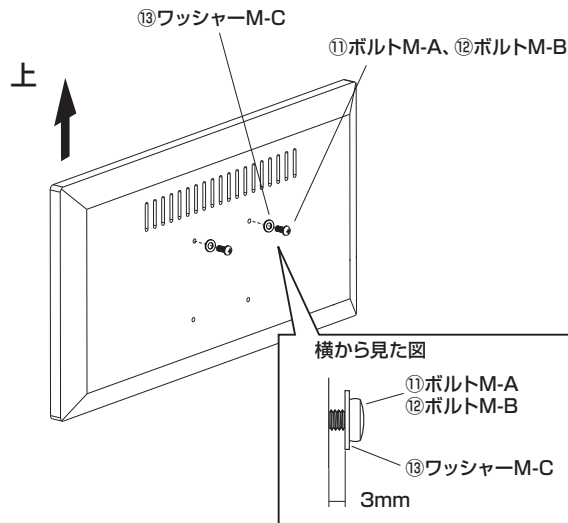
<注意>
毛布などを下に敷き、モニターへの傷や破損に十分ご注意ください。

<注意>
モニターに付属しているスタンド類は取外してください。
スタンド類の取外し方法はモニターの取扱説明書をご参照ください。

<注意>
※モニターの取付け穴の深さがボルトの先端が当たらない深さになっていることを確認してから締付けてください。

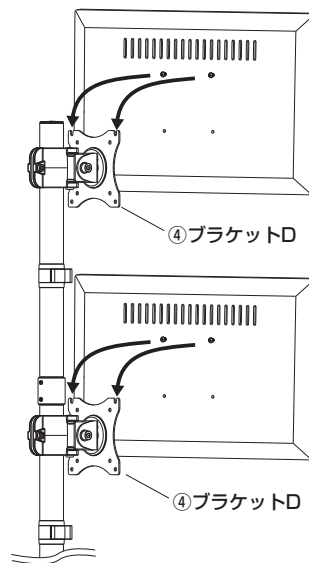
<注意>
ボルトが長すぎるとモニターを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとモニターがしっかりと固定できず、脱落する恐れがあります。
取付けに適したボルトの長さは各モニターによって異なります。必ずモニターの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどをご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。
本製品に取付け可能なボルトはM4とM5のみです。M5より大きいボルトは取付けることができません。

※モニターの上側に2本のボルトを、3mmのすき間を残して取付けます。

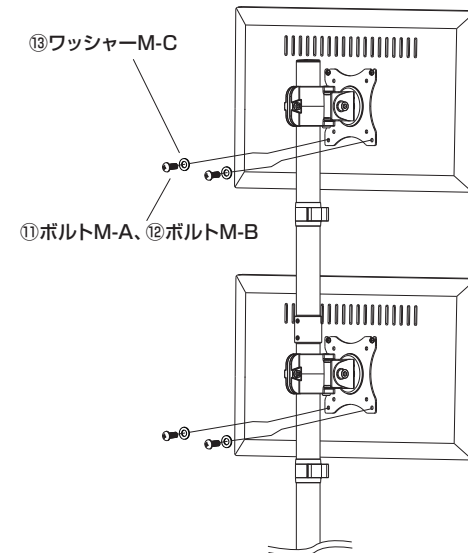


6. ブラケット D にモニターを取付けます。(続きは8へ)

1. ブラケットDにモニターを引っ掛けます。



2. ボルトM-A、M-Bを下側の穴に取付けて、4本すべてのボルトを締めます。



VESA75×75のモニターの場合

7. ブラケットDにモニターを取付けます。

<注意>

- ・この作業は必ず大人2人以上で行ってください。
- ・指などを挟まないように十分ご注意ください。

<注意>

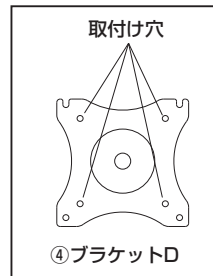
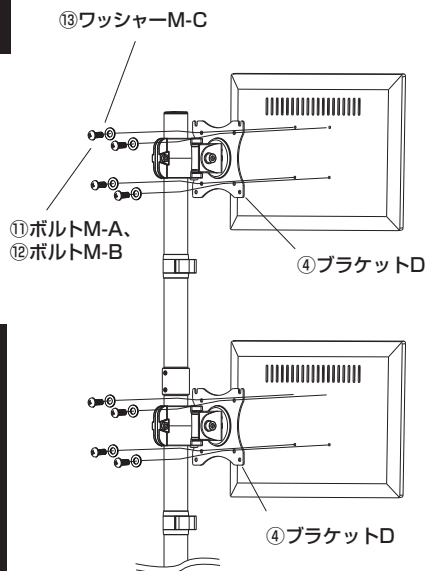
モニターに付属しているスタンド類は取外してください。
スタンド類の取外し方法はモニターの取扱説明書をご参照ください。

<注意>

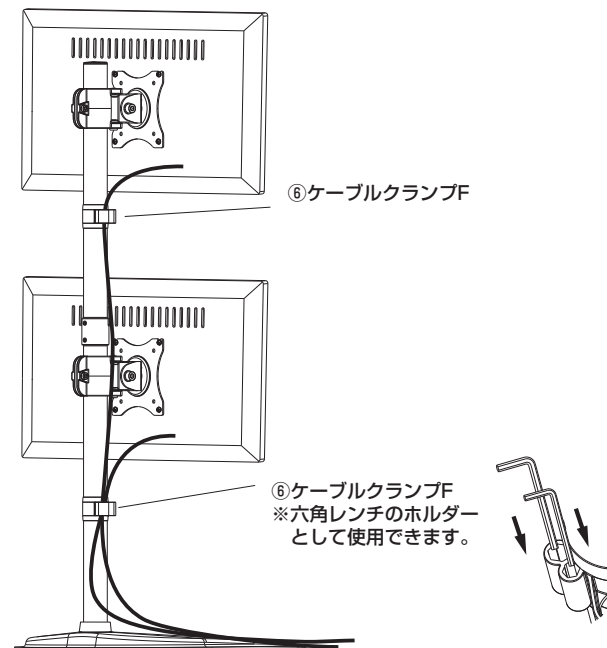
※モニターの取付け穴の深さがボルトの先端が当たらない深さになっていることを確認してから締付けてください。

<注意>

ボルトが長すぎるとモニターを破損する場合があります。また、ボルトが短すぎるとモニターがしっかりと固定できず、脱落する恐れがあります。取付けに適したボルトの長さは各モニターによって異なります。必ずモニターの取扱説明や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。
本製品に取付け可能なボルトはM4とM5のみです。M5より大きいボルトは取付けることができません。

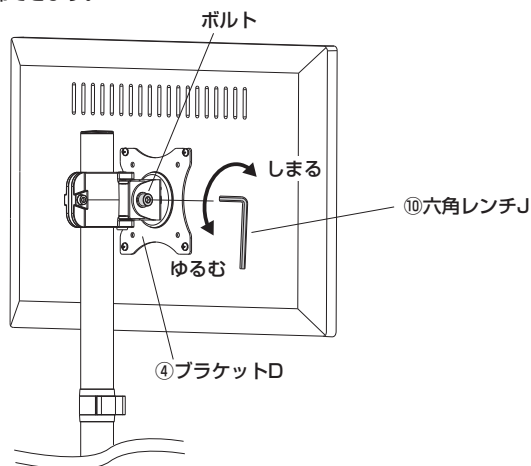


8. ケーブルクランプFにケーブルを通して完成です。

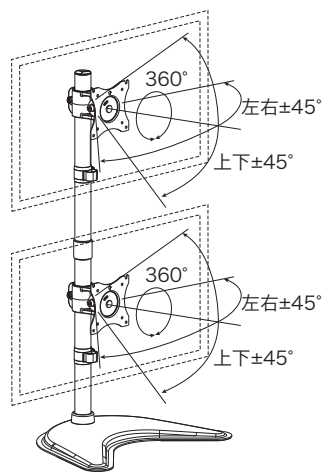


各部の調節方法

※ブラケットD側面のボルト回して、モニターの上下の角度の動きを調節できます。



可動範囲



使用上のご注意

- 可動部分で指などはさまない様に注意してください。
- 10kgを超える機器は取付けしないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を取付けた机を移動させないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ほこりや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

製品に関するお問い合わせ

製品の品質管理には細心の注意を払っていますが、万一、不都合な点や製品に関するお問い合わせなどございましたら、お買い求めの販売店までお気軽にご相談ください。